

第五期長期計画・調整計画市民会議 第3回
傍聴者アンケート(自由記載欄)

1. 今回の市民会議で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ごみの捨て方、分別方法について、市民の皆さんにより周知していく方法を考えていかなければならないと思いました。(例) ごみ収集カレンダーの全戸配布など
- 相続に対する緑の減少、市民参加の方法、グローバル化への対応
- ・都市型の緑化、環境づくりという独自性が必要。例：スローライフにつながるための地域づくりというようなコンセプトを明確にする。なんで緑化か？の理由として。
 - ・緑化と地域ボランティアの展開をもっと評価することが重要ですが、まちづくりのこれからとのジョイントが弱いことが、もったいない。まちづくりでもボランティアが出来ることも緑、環境とつなげて見せていくことが大切。
 - ・まちづくりも包括的がキーになると思います。地域リハにもリンクした、緑、環境は武蔵野市の独自性になるのでは？
 - ・ごみ問題への取り組みは地域につながる第一歩、誰にでも、通じるテーマだと思います。それはまたひとつのチャンスにもなります。省エネとゴミ問題もつなげた、これからのまちのあり方にしていけることが、市民へのまちのビジョンになる可能性を大切にしたい。
 - ・防災を話す時に日常のコミュニケーションとつなげて考えてほしい。
 - ・時間配分がもったいなかった。気持ちは分かるが、みんなの反応が弱くなったため、会議が止まってしまった。
 - ・お寺や教会が文化や若者へ居場所、高齢者のスポットとして地域とつながる工夫を模索してほしいです。
 - ・地域コーディネーターをどう育てるか？（文化、市民生活から全分野において）が重要。
 - ・地域コーディネートは時間がかかることがポイントになる（プラス面において）。だからこそ、今から始める事が大切です。
- ・なぜ市内の緑を増やさなければいけないのかを明確にして、市民で共有する事が必要。
 - ・人と人とをつなぐことでコミュニティを形成していく。(場所だけあってもコミュニティはできない)

2. その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- 話題がかたよってしまう傾向がある。もう少し工夫が必要と感じる
- 産業振興について、もう少し議論を聞ければよかった。持続可能な社会の形成に向けて雇用をどう維持していくかは重要な話だと思うので。
- もっとこの会議の内容が市政に反響されるようにしてほしいです。
- 委員会の構成はどこまで市内人口の多様性（階層、民族（国籍、ルーツ）性的指向、年齢層、障が

いの有無など)をどこまで反映できているかとても気になりました。一部の意見が(間接的な形で)でしたが、全体的には様々な意味で社会的な主流派の価値観がベースになっていることに危機を感じました。もう少し反映されやすい、社会的な弱者(マイノリティ)の意見も代表できるような体制をつくるための配慮が必要だと思いました。単純に人の比率や居住地区を基にした構成では取り残されるグループが多すぎて危ないです。普段社会の中で声を聞いてもらえない人々をこの場からこそ排除していけないのではないのでしょうか。代弁よりも当事者性を大事にして欲しいです。武蔵野だからこそできるはずです。ぜひ実現してほしい。

- ▶ 情報を的確にわかりやすく伝えることのむずかしさを感じました。